

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	中小企業資金等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	7	1	2	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市内の多くの中小企業者が市制度融資を活用できるように預託金を増額し、取扱金融機関を1行増やすほか、中小企業者への更なる周知を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	融資枠拡充の検討と中小企業者への更なる周知を図る。
②①に基づく取組み結果	預託金を増額するとともに、取扱金融機関についても新たに1行追加した。また、広報紙やホームページにより制度の周知を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の中小企業事業者	意図(対象をどうするのか)	資金融資を通じ、中小企業の経営の安定及び振興を図る。
②事務事業の概要	中小企業の経営安定と振興を図るため、中小企業に対して中小企業資金融資及び、中小企業資金融資貸付金利子補給を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	中小企業においては引き続き厳しい経営環境が続くものと予想される。また、商工業の経営安定や振興についても要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	中小企業の経営の安定及び振興について、資金面から寄与することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 資金融資額		28	20	26	千万円	業務取得
	ii 利子補給額		8,713	9,076	9,911	千円	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	79,111	100,444	金額(千円)	内容	103,378		
国支出金(千円)			9,911	中小企業資金融資貸付金利子補給金			
県支出金(千円)			90,000	中小企業資金融資預託金			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	79,111	100,444			103,378		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	取扱い金融機関の一部において融資枠が十分ではない状況となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	資金融資等により市内中小企業の経営基盤を強化してため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	企業誘致基本計画推進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	7	1	2	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	商工振興課			
施策	333活力ある工業の育成	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業のため、前回評価無し	③平成26年度に取組む改革・改善内容	進出企業に対する優遇措置等を定めた条例の制定
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内外の企業及び市民	意図(対象をどうするのか)	市内への企業立地の促進及び市民の雇用の場の創出。
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市企業誘致基本計画に基づき、各種企業誘致事業を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後も地元における雇用の確保及び地域経済の活性化を図るうえでも新たな企業の立地が求められる。また、「立地を活かした新産業の誘導」は、市民意識調査によると不満足となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	「鎌ヶ谷市企業誘致基本計画」を策定した。また、本計画における情報発信による推進の一環として、ホームページ及びパンフレット10,000部を制作した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	パンフレット作成部数			1	万部	業務取得
	ii	ホームページへのアクセス件数			-	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	2,866	金額(千円)	内容	109		
	国支出金(千円)		1,847	企業誘致HP作製			
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	2,866			109		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	企業の市内への進出意向を高めるための支援制度の創設や活用可能な用地の確保。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	雇用の創出と地域経済の活性化のために企業の誘致策を検証していく必要があるから。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	企業誘致事業	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	ホームページ及びパンフレットの制作による情報発信	3,214	3,029	当初	3,214	2,866	H24からの繰越	
				H24⇒25繰越				
③達成状況	完了			補正			現年分	2,866
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-185			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)				